

H 本物の探求者

H●NMONO

この特集では、故・船井幸雄が生前伝えていた、すばらしい未来づくりの決め手である「本物」を、毎月探究していきます。世の中に埋もれた「本物」の技術や商品を^{ひろ}拡めることで、^な明るい未来創造のきっかけを担います。

「ほんもの」とは【5つの選定基準】

- 1 つき合うものを害さない。
- 2 つき合うものを良くする。
- 3 高品質で安全。そして安心できる。
- 4 単純でしかも万能である。
- 5 経済的である。

口腔内の健康が 人々を健康に導く



株式会社アルラ 代表取締役

いわ つき じゅん
岩月 淳

愛知県出身。25歳から人生の目標を探すために世界39か国を渡り歩き、さまざまな冒険を試みる。帰国後、株式会社トータルヘルスデザインへ入社し20年間勤めるなか代表取締役社長に就任。在任中、運命的に出会った杉本聖さんからチベット医学を継承し、株式会社アルラを設立。現在は高機能歯磨き剤バイオペーストを展開し、口腔内から人々の健康と社会を支える活動を行っている。

ヒーローに憧れ育った 少年時代

幼少の頃からウルトラマンやアニメのヒーローに憧れ、「いつか自分もヒーローのように人々や社会のお役に立ちができる人になりたい」という思いで育ちました。

父からはその頃から、「死をもつて制す」という言葉とその意味を教わっていました。「困難に直面し、もうどうにもならないと思ったとき、死ぬ覚悟をもって取り組めば、大抵のことは何とかなる」という意味の言葉です。また、父は『ロビンソン・クルーソー漂流記』を枕元で朗読し、幼いころの私を寝かしつけ冒険心を^{ほぐ}育んでくれました。

高校入学と同時に憧れの極真会館に入門し「男子たるもの先ず強く



10

Vol.180
OCTOBER
2022

進みがたきを進み、
すべての根源「ワンネス」に
立ち返る道 叶礼美

沈みゆく日本で、どうすれば
資産を守れるか? 中谷昌文

わが国が直面する国難に
どう立ちむかうか
ワンネスの境地へ

船井勝仁
安倍総理の遺産

副島隆彦
安倍晋三の銃撃死亡は
単独犯ではない

船瀬俊介
『コロナの、あとしまつ』
それは、地球市民の“反コロナ革命”だ!

ベンジャミン・フルフォード
エネルギー危機でヨーロッパ全土を
揺さぶるロシアとその野望

飛鳥昭雄
安倍晋三暗殺は仕組まれたものだった!!

小説 罪と罰2023 新堂冬樹

あつてこそ」と、心と体の鍛錬に打ち込みました。アルバイトではウルトラマンなどのキャラクターショーを数多くこなしながら(写真1)、将来の自分を考えるようになり、限界にチャレンジして己を知るための冒険を企てていました。



(写真1) 炎天下でのウルトラマン

そして卒業後、いったんは企業に就職したものの、先の計画を実行するため、会社を辞めて冒険の旅に踏み切ったのです。

世界一周、無帰国で3年間。何にでも挑戦すると決め、まずはニュージーランドに向かいました。

「本気で生きたら人生の目標が見つかる」

そう思い、ニュージーランドではフルコンタクトの空手の大会に出場し、練習を通して多くの人と触れ合いました。仲間の家にホームステイして語り合い、日本の武道を通して交流できたことは大変有意義でした。また、ヒッチハイクで国内を移動し、季節労働者としてキウイフルーツ、リ

ンゴ、ミカンなどの摘み取りをしながら、週末は空手を通して地域の人と触れ合い、約11か月を過ごしました。

ニュージーランドの次は、隣のオーストラリアに移動し、武道上達のために、シドニーに住む元全米マーシャルアーツ(武芸)のチャンピオンのもとでカンフーを学びました。空手と違い内なるエネルギーである「気」についても鍛錬しますが、小柄だったこともあり、気をうまく活用したいと興味を持って練習に打ち込みました。

その後、バイクで砂漠を横断をしながらオーストラリアを一周する計画を立て、週末は中古で購入した600ccのオフロードバイクで練習走行に励みました。オーストラリアの国土は日本の20倍、全長1000キロ以上の砂漠もあるため、サバイバルとメカニクスの両方についても経験を積むことになりました。

とはいえ、このバイクでのオーストラリア一周計画はアクシデント続きでした。なんとオーストラリア一周の旅に出かける寸前で交通事故に遭い、左足に全治8か月の重傷を負ってバイクは大破してしまったのです。

ギプスと松葉杖の生活をしながらバイクは自分で修理を

試みますが、全損でしたので完全に分解し部品を購入して組み立て、ナンバープレートも新たに取得しなければならぬ状態でした。

けれど自分を奮い立たせ、約2か月後には杖を突かなくとも少しは歩けるようになったため、足にはボルトを入れた状態ではありましたが、不安の中でオーストラリア一周に踏み切りました(写真2)。

途中エンジントラブルが続きますが、すべてを組み立てた経験から大抵の修理は何とかなったものの、さらに致命的な事故が待ち受けます。

オーストラリアには360度地平線の地があり、そこでは一本道が続きます。その道を進んでいたときに、たまたまずれ違ったトラックが何かを落としたのです! その落下物は勢いよく私に向かい、右足の甲に刺さって止まりました。それはとても大きなペンチでした。無情にもトラックは走り去りました。

左足にボルトが入った人間の右足にペンチが刺さる。天を仰ぎました。何か見えない力が無謀な冒険を止めようとしている……。ペンチは足の裏まで貫通し流血がとまらない……。気温は50℃。もうダメだ。これ以上は続けられない。

い。「親父! 負けた!」泣き叫びました。けれど気が付くと先に進みつづけていました。無意識状態です。そして、真夏に

1000キロの砂漠の単独横断を決行し、無事に成し遂げることでできたのです。

横断後に口から出たのは「親父。勝った!」という叫びでした。



(写真2) 砂漠の横断中

こうして13か月間のオーストラリアの旅が終わり、その後、バックパッカーとして世界を一周。39か国を巡り、目的の地ニューヨークで旅を終えました。

チベット医学との出会い

帰国後、空手時代の先輩の会社で、映像制作の仕事を手伝うことになりました。その時のクライアアントの一つが、美と健康に関わる商品を扱う株式会社トータルヘルスデザインでした。

トータルヘルスデザインでは物質を持つ「気エネルギー」も研究していましたので、今まで武術を学び「氣」を体得したいと思いつけてきた自分にとって、もってこいの会社です。私はさっそく就職し、仕事に打ち込みました。

当時はスタッフも5名ほどの規模の小さな会社でしたが、社会復帰を目指して一心不乱に働きました。とても厳しい仕事環境ではありましたが、興味のある分野であったことと、「小さい会社だからこそチャンスがあるのかもしれない」と可能性を信じてがんばり、20年在籍して17年目に代表取締役社長に就任した頃には、5名だったスタッフは70名ほどに増えて立派な会社に成長していました。

このころ、人生を左右する杉本聖さんとの出会いがあります。

当時杉本さんは、中国の青海省にある「アルラチベット医学センター」という、3000年以上続いてきたチベット医学の総合センターで働き、日本人でありながら3000人のスタッフのナンバー2という立場の方でした。頻繁に連絡を取り合いチベット医学の話を聞かせていただくにつれ、私の人生の価値観は磨かれていったのです。

杉本さんとの約束から導かれていく

杉本さんのミッシヨンは、古典医学であるチベット医学が時代の波に埋もれ消滅することがないようにサポートすることでした。

「慈悲慈愛の精神を持ち、世のため人のために貢献する」チベット医学の理念は、自分が少年のころに憧れたヒーローの精神にも通じており、ますますチベット医学に心引かれていきました。

しかしそうした中で、驚くべき知らせが入ってきました。あろうことか杉本さんが大病で余命数か月の命だと宣告されたのです。

闘病中は入院先の病院に頻繁に足を運び、仕事で培った代替医療の実力者となげながらサポートを試みますが、どうにもなりません。

そして杉本さんからは「アルラをお願いします」と言われるようになりました。

「偉大なあなたの代わりは無理です！」「なんとしても生きてください！」と返していたものの、やがて杉本さんとお会いできる最後の日が訪れます。

面会時間も終わりに近づき、病室を後にする頃、「最後にもう一度、手を握ってほしい」と、そう杉本さんはおっしゃいました。

そして、「岩月さん！ アルラをお願いします」とおっしゃるのです。「杉本さん、わ、わかりました……」。これが杉本さんと最後に交わした会話となりました。これは、自分の人生を変える「男の約束」にもなりました。

間もなくして、20年勤めた会社を退社し、これからは「組織の中で働くのではなく、天に導かれるように生きていく」。そう決意して、株式会社アルラを立ち上げました。

「アルラ」とはチベット医学でもっとも多く使われる薬草の王様の名前です。

そして、日本の医療人や経営者をアルラチベット医学センター（写真3）にお連れして、チベット医学を学んでいただくツアーを数多く開催しました。

アーユルヴェーダはインドの古典医学、チベット医学はチベット独自の古典医学になり、それぞれ3000年以上の歴史がありますが、日本には古くから伝わる伝承療法をみることはありません。



(写真3) アルラチベット医学センター



(写真4) チベット仏教五大寺院のひとつ、タール寺にて

チベット医学を知るツアーは、高僧が医師になる精神性を重視した古典医学が数千年間続いていて、ここまで大きな組織として現存していることのすごさを目の当たりにしていたことで、日本で主流の西洋医学にはない、精神性の大切さを感じていただきたいとの意図がありました（写真4）。

「チベット医学は東洋医学の精神の象徴」

そのようなキーワードを掲げ、日本で活躍される代替医療の先生方に、また社会を担う経営者の方々に新しい価値観を感じていただくことができることは、チベット医学の

存在価値のひとつになっているに違いありません。

口腔内の健康が人々を健康に導く

「チベット医学と日本をつなげる架け橋となる」。そんな決意で設立した株式会社アルラの活動でしたが、そのころ、現代医学の常識が大きく変わろうとしていました。

それは、「歯周病などによる口腔内の細菌が歯茎の毛細血管から体内に侵入し、がん、糖尿病、高血圧などのあらゆる生活習慣病や認知症の原因にもなっている」というものです。しかも歯周病の患者は、軽度な予備軍も含め、国民の80%以上を占めているといえます。

しかし、チベット医学には歯科がありません。昔から遊牧民は歯が丈夫で、歯科が不要であったとのことですが、地球環境や食生活が変わるにつれて虫歯率は高くなり、そうは言っていられないようになったのです。

日本から有名な歯科医師を現地にお連れし、勉強会や実習会を試みますが、伝統医学を志す彼らになかなか根付かせることは困難でした。

が、糖尿病、高血圧、認知症、リウマチ、痛風、脳梗塞、がんなど多くの生活習慣病の原因に関係しているというものが、最近では多くの書籍でも紹介されています。

今年3月に放映されたNHKのBS番組では、「歯周病になると痴呆症の進行が6倍になる」とも放映されています。そして、今年の6月に発表された政府の骨太政策に、歯の定期健診を促す「国民皆歯科検診」の導入に向け、検討を始めるという方針が明記されました。

口腔内の健康と全身の生活習慣病の関係について、立ち止まってしっかりと考え直す時期がきていると感じざるを得ません。

後悔していることのアンケート1位は「口腔ケア」

さらに驚くべき事実があります。雑誌『プレジデント』で、55歳から74歳の男女1000人に「リタイア前にやるべきだったと後悔していること」というテーマで行なわれたアンケートの調査結果が2019年3月18日号で紹介されていますが、そこでもっとも多かった回答が、「歯の定期健診を受けておけばよかった」というものだったのです。人間の永久歯は、親知らずの4本を除くと合計28本あり

「こうなったら今までにない、究極の高性能歯磨きを開発するしかない」

そう考え、チベットでも人々は歯を磨くため、日本の最新技術を駆使して、歯磨き剤の研究に取り組むこととなりました。

幸い前職の20年間で多くの本物技術を知り得たため、商品開発の経験もありました。自分の人生のミッションであると決意して不転の思いで取り組んだ結果、「超高性能歯磨き剤バイオペースト」の開発に成功したのです。

そして2018年にはヨーロッパの統合医療の国際大会ECIM(写真5)で発表の機会を得ることができました。

生活習慣病の予防は口腔ケアから

現代医学では、口腔内の健康と生活習慣病が密接に関わるといふ認識が浸透しはじめています。口腔内の健康状態

ます。怪我や火傷をしても皮膚はある程度自然治癒し、骨折した骨も大抵は修復しますが、歯だけはそうはいきません。「8020運動」という運動があり、それは80歳まで20本以上の歯を残そうというのですが、80歳でも28本すべての歯を残す気持ちで向き合おうという姿勢が日本人の中に生まれつつあります。

100年近く前の大規模調査

また、ウェストン・A・ブライスというアメリカの歯科医師が書き上げた書籍に、『食生活と身体の退化——先住民の伝統食と近代食——その身体への驚くべき影響』（恒志会

2010年）(写真6)というものがありません。ここには先住民の伝統食と近代食、その身体への影響が詳しくまとめられています。

ブライス博士は1930年から世界14か国で伝統的な自給自足の生活をしている人々と、同じ民族で白人の近代食



(写真6)『食生活と身体
の退化』ウェストン・A・ブ
ライス著



(写真5) スロベニアで開催されたECIM

生活へ移行した人々の口腔内の状態、顎顔面の形態変化、身体変化について、生態学的調査を行いました。

本書の結論は、伝統食を近代食に切り替えた部族に、歯やさまざまな身体の成長と健康状態に影響がみられたというものでした。ここでは詳しく触れませんが、健康の根本に「食」があるということです。

チベット医学に歯科がないのは、虫歯はここ100年の現代病で、3000年のチベット医学の歴史の中の2900年間は、治療の必要もなかったからでした。

歯周病と生活習慣病のメカニズム

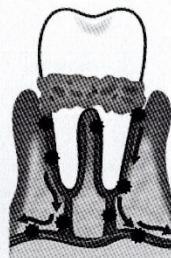
「人類史上最大の感染症 地球的規模で蔓延」

これはギネスブックに紹介されている「歯周病」(図7)を表わした言葉です。

歯周病は予備群も含めて国民の約80%以上、20代でも約50%に該当するといわれています。

実は歯周病は、歯だけではなく、全身に影響を及ぼします。歯を支えている歯茎に炎症反応を引き起こす細菌が多く

留まると歯周病になります。歯周病を放置すると歯根が支えられなくなり、やがて歯を失います。そして口腔内の炎症は動脈硬化や糖尿病などの全身の生活習慣病の発症にも影響を与えます。



(図7) 歯周病

炎症部位からは、細菌が歯肉の血管に侵入し、歯周組織で産生された炎症性物質が血流に放出され、細菌と炎症性物質が全身に広がります。細菌は血管内では白血球に吸引され、脂肪の固まりとなって血管壁に留まり、血管は硬く弾力性を失い、狭くなります。その結果、動脈が狭窄し血流が低下して、重要組織の十分な酸素や栄養素の受け取りも低下し、時には脳梗塞や心筋梗塞などに至ることもあるのです。

また、歯周病からの全身の炎症反応は、血糖値の調節にも影響を及ぼします。食事をして血糖値が高くなると、それを下げるために膵臓がインスリンを産生し、糖はインスリンによって細胞内に取り込まれ、エネルギーとして使

理・蓄積されます。

しかし口腔内の細菌が全身を巡って炎症を起こすと、インスリンの結合を阻害し、細胞への糖の取り込みが減少します。血糖値は高く維持され細胞はエネルギー不足になり、栄養不足から免疫力が低下した状態が続いてしまうのです。

こうして歯周病は体全体の臓器の健康に悪影響を与え、生活習慣病の発生を促します。

新型コロナウイルスと歯周病の関係

新型コロナウイルス感染症と、口腔内の健康状態の関係を示す学術論文もあります。

『ジャーナル・オブ・クリニカル・ペリオドントロジー』という、歯周病についての国際的な権威のある学術雑誌に掲載された「歯周病がある人とならない人は新型コロナウイルスの重症化の率が違う」という論文です。

内容は、新型コロナウイルスに感染した人の内、歯周病のある人は全体の12・8%が重症化したのに比べて、歯周病のない人が重症化したのは2・3%だったという結果が出たというものです。

また、新型コロナウイルスで死亡する割合については、歯周病がない場合にくらべて、歯周病のある人は死亡率が8・81倍にもなったそうです。

歯周病の改善によって、新型コロナウイルスでの重症化患者を5分の1以下にまで減らせ、死亡者を8分の1程度に減らせるという希望のある内容になっており、この内容について、2021年3月19日、参議院予算委員会で自由民主党の山田宏議員が質問内容で触れていました。

また、「歯磨きがインフルエンザの発症率を下げる」という報告もあります。

インフルエンザウイルスは口の中に入っただけでは発症しません。そこから細胞の中に入る際、口腔内細菌が出すタンパク質酵素を媒体とするため、口腔内に細菌が多い少ないで発症率に差があります。

山田宏議員が東京都杉並区の区長だった頃、小学校48校の内7校で歯を磨く洗面台を設置し、歯磨きの習慣を強化したところ、インフルエンザによる学級閉鎖率が79%から、翌年は42%へと約半分に減少した、という報告をしています。

日本の医療費を口腔ケアで削減!?

「生活習慣病はドミノ倒しのように、口から病気へつながっていく」という欧米での考えを表わしたものが、メタボリックドミノ(図8)です。そのドミノの上の方にあるのが虫歯や歯周病であり、欧米では歯科のステータスが高いといわれています。

このようなことを受けて、最近では日本でも、歯科と内科を併設した診療所を見かけるようになりました。難病、奇病で受診すると、まずは歯科の領域から診断していき、口腔に異常があれば治療を行います。それでも改善がみられない場合、内科の領域に診療が進みますので、その順番はメタボリックドミノと同じになります。

愛知県のトヨタ関連部品健康保険組合と豊田加茂歯科医師会の合同調査からの報告では、歯の定期検診を受け、日常ケアもしつかり続けると、1人当たりの年間の総医療費が低くなる傾向にあり、歯科の定期検診を受けている人は、49歳を過ぎると総医療費が平均を下回る結果になるといいます。

そして65歳を過ぎると総医療費の平均が一人当たり35万

「歯の残存度が高いほど、年間の総医療費が少ない」という統計もあります。

香川県歯科医師会では、毎年40代以上の人を対象として歯の本数と年間の総医療費の関係について、以下のように報告しています。

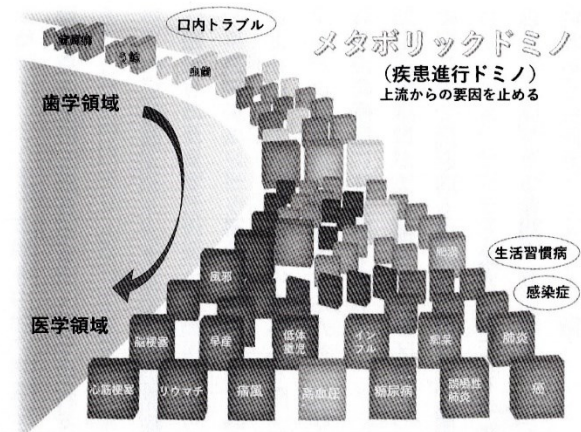
残存数20本以上の人は総医療費の平均が年38万円であることにに対し、10本以下の人は年51万円と、実に一人当たり年間13万円もの医療費の差があるというものです。

また、歯周病がある妊婦の早産の割合は、歯周病がない妊婦と比較すると2・27倍、さらに、低体重児出産の割合は4・03倍にもものぼるといふ報告もあります。

福岡県にある、特別養護老人ホームでは、施設内の高齢者に対し口腔ケアを定期的に行った結果、「高齢者に多い誤嚥性肺炎の発生率が3分の1程度に減少した」という報告を挙げています。

週に2回、1回10分程度の口腔ケアを歯科医師の指導のもとで実施することで、誤嚥性肺炎だけでなく他の疾患での入院も減り、入院日数が3分の1程度に減少したとのことです。

1施設あたり年間3000万円程度の医療費削減の報告



(図8)メタボリックドミノの模式図

円に対し、定期受診者は20万円以下と、一人当たり15万円の差ができて、さらにその差は年齢を重ねるにつれて広がっていくとのことです。

つまり歯が健康であれば、生涯医療費は低くなるのです。

から、全国で特別養護老人ホームと、民間の有料老人ホームの総数約2万3千施設を単純にかけ算すると、老人ホーム全体での口腔ケアの強化で年間7000億円程度の医療費削減が見込まれることとなります。

また、訪問看護ステーション、デイケアなどの施設数はさらに多く、社会全体での口腔ケアの取り組みは、数兆円規模の医療費削減効果が期待できるのです。

毎年5000億円から1兆円ずつ増え続けていた日本の年間医療費の総額は、現在43兆円になっています。その36%を占めるのが75歳以上の高齢者であり、一人あたりの平均額は90万円を超えているそうです。また65歳以上から75歳未満の高齢者については、約55万円です。

あと10年も経てば、団塊世代の皆さんがすべて75歳以上となり、今のままでは日本の医療費は大変な事態になってしまいます。

大切なのは毎日の口腔ケア

だから、少しでも歯に違和感があれば歯科検診に行くこ

とをお勧めします。専門家に歯の健康状態を診てもらい、大きな治療を要する前に手を打ちましょう。

歯科検診を1年間に1回でも実施した人は、全く健診を受けない人よりも、年間の総医療費が10万円程度低いという調査報告があります。歯科では歯垢染色剤（染め出し剤）を使って磨き残しを確認し、有資格者の歯科衛生士によるブラッシングの指導を受けることもできます。

1本の歯の資産価値は日本では100万円相当といわれ、アメリカでは500万円。28本で1億4000万円に相当するといわれています。一度失うと二度と生えてくることはないのですから、歯科検診で口腔ケアのモチベーションも上げてください。

そして、口腔内には少ない人でも1000億、多い人では1兆もの細菌がいます。

1個の細菌は12時間後には1680万個にまで繁殖するといわれていますので、毎日の口腔ケアが欠かせません。

歯ブラシや歯磨き剤などの選択も重要です。

歯ブラシは全体を磨くもの以外に、奥歯の歯頸部も磨き

の3・5倍にもなるため、シャンプーやトリートメントなどには注意が必要です。

もっとも吸収率が高いのは粘膜です。坐薬を投与する肛門や、口腔内の舌下には粘膜がありますが、その吸収率は腕の1に対して42といわれています。

西洋医学の舌下錠「ニトログリセリン」は、心筋梗塞や狭心症などの心臓発作の際に舌下に投与する医薬品で、数十秒で心臓に成分が到達し、症状が治まります。

ですから経皮毒の観点でもっとも注意すべき日用品には「歯磨き剤」が挙げられます。

日本の薬事法では、歯磨き剤は「化粧品」か「医薬部外品」のどちらかに分類されるため、シャンプーやボディソープなどにも入っている石油系の合成界面活性剤などの化学物質でも、口腔内で使用する歯磨き剤に使えます。

そのため、多くの歯磨き剤には、合成の化学物質が入っているのです。

理想の歯磨き剤とは

歯周病は予備軍も含めると国民の80%余りが患者だとい

やすい、ヘッドの小さなものを何種類か用意しておくといいでしょう。また、歯の表面の20%程度は歯ブラシでは磨けない箇所になります。フロスや歯間ブラシなども併用してください。

通常、歯磨き剤は安全なものを選ぶと、洗浄・殺菌性が弱くなり、洗浄・殺菌効果を強化すると、化学物質に頼るため安全性が下がります。

市販の歯磨き剤の多くに含まれる石油系合成界面活性剤やフッ素などの化学物質は体にも吸収されていきますので、成分を調べ、専門家の意見を踏まえて、必要に応じて使い分けることも大切です。

ここで、体内に化学物質が入ることについて触れておきます。

皮膚や粘膜から体内に吸収される毒を「経皮毒」といいますが、食べ物などによって口から体内に入る毒を「経口毒」といいます。

「経口毒」の多くは、やがて体の外に排出されるといわれていますが、「経皮毒」は、その大半は体内で長期に留まります。経皮毒の経皮吸収は、部位によって吸収率が異なります。例えば、二の腕の吸収率を1とした場合、頭皮はそ

われています。

人によって口腔ケアへのモチベーションはさまざまですが、また、定期健診の回数も個人差があります。

しかし、大抵の人々は歯磨き剤を使用して歯を磨いていますので、歯の健康状態が「歯磨き剤の性能」に左右されるのは言うまでもなく、大切な論点となります。

理想の歯磨き剤の条件には、(1)全成分が天然由来、(2)強い洗浄力があり研磨剤に頼らなくてもバイオフィルムが洗い流せる、(3)歯・カビ・ウイルスにも対応する、などがあります。

(1)の「全成分が天然由来」については、口腔内の舌下吸収や、誤って飲み込んでしまっても問題のないものが使用されていることを確認しておくといでしょう。

(2)の「強い洗浄力があり研磨剤に頼らなくてもバイオフィルムが洗い流せる」については、歯の表面には「バイオフィルム」と呼ばれる細菌の膜が貼りついています。バイオフィルムは歯学では、薬剤では落とせないといわれていますので、大抵の歯磨き剤には研磨剤が含まれます。

しかし、研磨剤は同時に歯の表面のエナメル質も削ってしまい、時には知覚過敏を誘発します。

そのため研磨ではなく、洗浄力でバイオフィームが落とせる高性能の歯磨き剤が理想です。削らずに洗浄力だけで除去できれば、エナメル質は唾液中のリン酸やカルシウムで再石灰化しますので、知覚過敏は自然治癒の方向に向かいます。

(3)の「菌・カビ・ウイルスにも対応する」は、口腔内には乳酸菌などの善玉菌以外に、悪玉菌として嫌気性の歯周病菌群、好気性で虫歯菌といわれるミュータンス菌、真菌（カビ）のカンジダ、ウイルスなどが存在しています。

これらをしっかりと洗浄でき、また、殺菌や不活化などのデータを持ち合わせているものを選ぶのがよいと思います。

株式会社アルラで開発した「バイオペースト」(写真9)は、これらの条件をすべて備えています。ぜひ、お試しください。

チベット医学との出会いから、必要に迫られて開発した歯磨き剤「バイオペースト」。

一人でも多くの人々の手に届くよう、今後も活動に尽力していきたいと思えます。



(写真9)バイオペースト

◆岩月淳氏、
オンライン講座
「慈悲慈愛の
チベット医学
～アルラチベット医学
センターのすべて～」
<https://funai-51collabo.com/contents/1683>



◆岩月淳氏、
チベット医学の
魅力を語る
<https://honmono-pro.com/iwatuki/>



文中に出てきました「バイオペースト」などに関するお問合せは、03-3457-1271 (本物研究所) までお願いいたします。